

2013年4月12日

第29回日本医学会総会  
会頭 井村 裕夫 様

「戦争と医の倫理」の検証を進める会



代表世話人 赤羽根巖  
代表世話人 石川 徹  
代表世話人 西山勝夫  
事務局長 住江憲勇

### 第29回日本医学会総会の企画に関するご提案

貴職のご活躍に敬意を表します。

井村先生におかれましては、昨年11月19日には、ご多忙のところ当代表ならびに京都府保険医協会代表らとのご面談に貴重なお時間を割いていただき深く感謝申し上げます。その際当会から、「第29回日本医学会総会2015関西」として、15年戦争と日本の医学・医療の関わりの検証について、総会の公式企画として設けていただく旨要請いたしました。井村先生からは早速、総会関連委員会の委員長に対して要請内容のご報告をいただき、どのような対応ができるか検討するようご指示をいただきましたことを中村事務局長様を通じてご連絡をいただきました。

お礼申し上げます。

さて、ご面談の際、ドイツ精神医学精神療法神経学会（DGPPN）フランク・シュナイダー会長（当時）による、2010年同学会総会での謝罪表明「ナチ時代の精神医学—回想と責任（談話）」についてお話しを申し上げました。また、その謝罪表明について当会が作成しました『パネル集 戦争と医の倫理』に掲載したことをお知らせし、当会の参加者から第29回総会にドイツ医師会関係者代表の講演を実現したい趣旨の発言もさせていただきました。

その後当会より、弊会の構想をシュナイダー先生にお伝えしましたところ、ドイツの取り組みについて2015年4月10日～13日に来日いただきご講演くださることを確約されました。また、シュナイダー先生からは、ドイツ医師会代表の講演、DGPPNとして作成したパネルの展示の提案も頂いております。

今日の先制医療、再生医療などの重要課題をめぐって、医の倫理が問われていることから、史実を明らかにし、検証をすすめることは、医の倫理の確立やこれからの医学・医療の発展のために不可欠と存じます。日本の医学会が国際的に貢献できる重要な役割でもあると考えます。

是非とも当会としての提案を第29回総会に組み入れていただきたく、改めて要請いたします。医学史展など関連する企画も計画されておられるようですので、準備の過程に参加させていただけないかとも考えております。

私たちは、医学の進歩が人びとの福祉に寄与するために、日本の医学界が先駆的な役割を果たせることを願っております。趣旨をお汲み取りいただければ幸いです。  
(以上)

(連絡先)

151-0053

東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館6F

全国保険医団体連合会 内

「戦争と医の倫理」の検証を進める会

担当事務局 室井正、宇都宮勉、小林耕治

URL : <http://AVIC.doc-net.or.jp>

Email: [kouji-kbys@doc-net.or.jp](mailto:kouji-kbys@doc-net.or.jp)

電話 (代) 03-3375-5121

ファックス03-3375-1862